

かすみがうら市議会議会運営委員会会議録

平成29年5月11日 午後 1時59分 開 会

出席委員

委員長	小座野 定 信
副委員長	川 村 成 二
委員	矢 口 龍 人
委員	小松崎 誠
委員	田 谷 文 子
委員	岡 崎 勉

欠席委員

な し

委員外議員

議長	中 根 光 男
副議長	古 橋 智 樹

出席説明者

な し

出席書記名

議会事務局長	前 島 嘉 美
議会事務局補佐	神 野 厚
議会事務局	齋 藤 邦 彦

議 事 日 程

平成29年5月11日（木曜日）午後 1時59分 開 会

1. 開 会
2. 議長あいさつ
3. 協議事項
 - (1) 平成29年度第2回定例会の運営について
 - ①提出予定案件について
 - ②議案の審査方法について
 - ③一般質問について
 - ④会期日程（案）について
 - (2) その他
4. 諮問に対する答申（案）について
5. 閉 会

開 会 午後 1時59分

○小座野定信委員長

大変お忙しい中、ご参集いただきましてまことにありがとうございます。

ただいまの出席委員は6名で、会議の定足数に達しております。

会議は成立いたしました。

それでは、ただいまより議会運営委員会を開きます。

会議に入ります前に中根議長よりごあいさつを賜りたいと思います。

中根議長。

○議長（中根光男君）

開会に当たり一言ごあいさつ申し上げます。

委員の皆様におかれましては、何かとお忙しい中、大変ご苦労さまでございます。

本日は、4月19日に議会運営委員会に諮問させていただきました平成29年第2回定例会の運営につきましてご審議賜りますようよろしくお願いいたします。

また、本日は、3月22日付で宮嶋議員から本職宛てに提出がありました一般質問における質問方式に係る要望書並びに議員全体研修、全体視察研修につきまして貴委員会のご意見などを賜りたく申し入れさせていただきますので、あわせてよろしくお願いいたします。

以上です。

○小座野定信委員長

ありがとうございました。

ただいま議長から申し入れがありました件につきましては、本日の日程事項のその他で協議をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、書記を指名いたします。議会事務局、齋藤係長を指名いたします。

本日の日程は、お手元に配布

いたしました会議次第のとおりであります。

それでは、早速本日の日程事項に入ります。

初めに、提出予定案件についてを議題といたします。

事務局から説明願います。

事務局長 前島嘉美君。

○**議会事務局長（前島嘉美君）**

それでは、平成 29 年かすみがうら市議会第 2 回定例会提出予定案件をごらんいただきたいと思いを
す。

報告案件が 3 件、承認案件が 2 件、条例案件が 3 件、補正予算案件が 1 件、その他としまして市道
路線の認定案件が 3 件、全体で 12 件を予定してございます。

説明は以上でございます。

○**小座野定信委員長**

以上で説明が終わりました。

ただいまの件につきましてご質問等がございましたら挙手の上、発言を願います。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○**小座野定信委員長**

それでは、質問等もないようですので、次の議題に入ります。

次いで、議案審査の方法についてを議題といたします。

お諮りいたします。

平成 29 年第 2 回定例会提出予定案件のうち、報告並びに市道路線の認定を除く案件につきましては、
先例より議長を除く全議員で構成する（仮称）平成 29 年第 2 回定例会議案審査特別委員会を設置し、
これに付託の上、審査することとし、また市道路線の認定に関する案件につきましては、産業建設委
員会に付託の上、審査することによろしいでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○**小座野定信委員長**

異議がないということですので、そのようにさせていただきます。

○**小座野定信委員長**

次いで、一般質問についてを議題といたします。

昨日、発言の通告を締め切りました結果、8 名の議員から通告がございました。

お諮りいたします。

6 月 7 日水曜日に 3 名、8 日木曜日に 3 名、9 日金曜日に 2 名といたしたいと思いますが、よろし
いでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○**小座野定信委員長**

それでは、そのようにさせていただきます。

なお、一般質問の通告内容につきましては、お手元に配布いたしましたとおりであります。

ここで一般質問の通告内容につきましてお目通しを願います。暫時休憩とします。

休 憩 午後 2 時 0 3 分

再 開 午後 2 時 0 4 分

○小座野定信委員長

それでは、お目通しがほぼ皆様終わっているかなと思いますので、会議を再開いたします。

ただいまお目通しいただきました一般質問の通告内容につきまして、ご意見等がございましたら挙手の上、ご発言をお願いいたします。ご意見等ございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

それでは、ご意見もないようですので、次の議題に移ります。

次いで、会期日程案についてを議題といたします。

お諮りいたします。

平成29年第2回定例会の会期は6月6日火曜日から21日水曜日までの16日間といたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

また、議案に対する質疑の通告期限を6月6日火曜日の午後5時までとし、討論の通告期限を6月19日月曜日の午後5時までとすることによろしいでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

それでは、そのようにさせていただきます。

○小座野定信委員長

次いで、その他でございますが、本日の会議冒頭に議長から申し入れがありました件についてご協議をお願いいたします。

初めに、一般質問における質問方法についてご協議をお願いいたします。

それでは、ここで資料をお配りいたします。お目通しいたします。

配布漏れはございませんでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

ただいまお配りいたしました資料につきまして、事務局から説明をいたさせます。

事務局長 前島嘉美君。

○議会事務局長（前島嘉美君）

それでは、お手元の資料をごらんいただきたいと思います。

資料の1ページになります。

先ほど議長より冒頭のご挨拶でありましたように、3月22日付で宮嶋議員から提出されました要望書でございます。

内容としましては、一般質問において一問一答方式も選択できるようにしていただきたいという趣旨の内容でございます。

そこで、事務局のほうで資料を作成してございます。2ページをごらんいただきたいと思います。

一問一答方式の採用状況でございます。

1 番の（1）全国の状況について、一問一答方式を取り入れている自治体がふえている状況にあります。平成 27 年 12 月の全国市議会議長会の実態調査によりますと、一問一答方式を採用している市は 813 市のうち 702 市、86.3%、その 702 市のうち初回の質問から採用している市は 356 市、50.7%、再質問または再々質問から採用している市は 307 市、43.7%、その他 39 市、5.6%となっております。本市議会では、一問一答方式を再質問から採用しておりますので、307 市に含まれることとなります。

次に、（2）一括方式と一問一答方式のメリットとデメリットについてでございます。

一括方式のメリットにつきましては、質問項目の区分が明確である。質問全体の趣旨がわかりやすい。一般質問がスムーズに進行する。こちらは質問者と答弁者の移動による時間のロスが少ないというようなことも挙げられるかと思えます。

続きまして、デメリットにつきましては、どの質問に対してどのような答弁になっているかわかりにくい。答弁漏れがあるなどが挙げられるかと思えます。

一問一答方式でのメリットにつきましては、市民、傍聴者に質問、答弁内容が明確でわかりやすい。1 つの質問事項を深く掘り下げて議論ができる。答弁漏れがなくなる。デメリットとしましては、質問回数を制限した場合、質問項目の区分がわかりにくい。時間制限及び発言者が登壇する場合、登壇に要する時間がふえ、発言時間が減る。こちらにつきましては、質問者が 1 回登壇し、2 回目は質問席に移動をするような場合、また答弁者側も同様の場合も想定されます。質問全体の趣旨がわかりづらいなどが挙げられるかと思えます。

次に、3 ページになります。

（3）県内 10 市議会における状況についてでございます。

一問一答方式のみを採用しているのが龍ヶ崎市、取手市、守谷市、つくば市、みらい市でございます。

かすみがうら市と同様に、1 回目を一括方式、2 回目以降を一問一答方式を採用しているのは、つくば市と稲敷市でございます。

一括方式と一問一答方式の選択制を採用しておりますのが、土浦市と石岡市でございます。

牛久市さんにつきましては、一括方式、一問一答方式、一括一問一答方式の 3 選択制を採用してございます。

次に、2 番、一問一答方式の採用に向けた検討事項案としまして、（1）一問一答方式を採用する場合、質問方法として従来の方式と一問一答方式の選択制にするか、完全に一問一答方式に移行するかの 2 案がございます。

続きまして、（2）質問回数及び質問時間の制限につきましては、時間と回数の部分が空欄になってございますので、その部分の検討が必要になるかと思えます。

（3）番と（4）番の質問者の位置、場所について、答弁者の位置、場所について、それぞれ 2 つの案がございます。

以上の点についてご協議をお願いしたいと思います。

なお、4 ページをごらんいただきたいと思います。

先ほどの県内の 10 市町村の調査状況を添付してございます。各市議会ともそれぞれ質問時間、質問回数に違いがございます。参考の資料としていただきたいと思います。

説明は以上でございます。

○小座野定信委員長

ありがとうございました。

以上で説明が終わりました。

ただいまの件につきまして、討論事項案を除く説明内容に限りご質問等がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。

なお、検討事項案につきましては、この質疑の後、協議したいと思いますので、よろしく願いいたします。

ご質問等がございましたらお願いいたします。

川村副委員長。

○川村成二委員

2ページ目のメリット、デメリットの内容で、一問一答方式のメリットの中に1つの質問事項を深く掘り下げて議論できるとあるんですが、現状の一括方式でも深く掘り下げてやっていますよね。ここでいう深く掘り下げて議論できるという一問一答方式のイメージは、どういう方式なのでしょう。

[内容の整理について発言する者あり]

○小座野定信委員長

じゃ、もしわかりましたら、わかる範囲で前島局長お願いいたします。

○議会事務局長（前島嘉美君）

こちらにつきまして、先ほど川村副委員長さんからお話があったように、2問目から一問一答方式を採用しているわけでございます、当市の場合には。ですから、一問一答方式、2回目からはそういう方法ですけども、最初から一問一答方式をその主題に絞って行えるということで深く掘り下げて議論ができるのではないかとというようなことで、メリットとして取り上げさせていただいた内容です。

○小座野定信委員長

川村副委員長。

○川村成二委員

私がイメージしている一問一答方式は、通告した一般質問の1回目の質問がその都度、演壇に登壇して、質問するわけですね。ですので、質問項目の、例えば4項目あったら、4項目の1回目の質問を全て演壇に登壇してやった後、2回目以降は質問席からやるので、1つの質問を続けて終わりまでやっていくというイメージではなかったんですよ。

だから、その辺の一問一答方式の運営のイメージがちょっと皆さんで共通に持ったほうがいいのではないのかなという気がしたんですけども、その辺はどのような流れなのでしょう。

○小座野定信委員長

前島局長。

○議会事務局長（前島嘉美君）

例えば、今ご質問があったように、1項目の中に4つの質問が……。

[川村委員「内訳なしで、大項目で」と呼ぶ]

○議会事務局長（前島嘉美君）

大項目の中の小項目を1回ずつ、それを何回かやっていくというようなイメージでございます。1回で大項目の中の4つを全部質問するのではなくて、大項目の中の1つを質疑をして、次にまた2つ目を質疑してというふうの一つ一つやっていくというのが一問一答方式ということです。

休憩 午後 2時16分

再開 午後 2時42分

○小座野定信委員長

それでは、再開いたします。

いろいろとご意見等がございますが、本日はこの程度にとどめさせていただき、引き続き調査、研究を進めるということにいたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

それでは、そのようにさせていただきたいと思います。

暫時休憩いたします。

休 憩 午後 2時43分

再 開 午後 2時44分

○小座野定信委員長

では、再開いたします。

ただいまの議会改革というか質問に関する意見の中で、一つ議会運営委員会としての意見として、この皆様の一般質問通告事例一覧というものを傍聴者受け付け席において、誰々議員はこういう質問をするんだなということをお知らせ版では知らせてありますが、持参をして、傍聴される方も数少ないということで、改めてそこで配布をするということを提言したいと思いますが、いかがでしょうか。

矢口委員。

○矢口龍人委員

要するに、その日の質問者の内容だけでいいんじゃないかと思うんですよね。例えば3日間だからって3日間全部提出しないで、傍聴に来た人の特権として、やっぱりそういうことでお願いしたいと思います。

○小座野定信委員長

わかりました。

ただいま矢口委員のほうからご意見いただいたように、当日分の質問者の質問一覧表というものを配布するということにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

では、そのように要望をしていきたいと思います。よろしく願いいたします。

○小座野定信委員長

次に、議員全体研修の件についてをご協議をお願いいたします。

それでは、外部講師による議員全体研修の講演テーマ並びに日程等につきまして、ご意見・ご要望等がありましたら挙手の上、ご意見をお願いいたします。

ご意見・ご要望等はございませんでしょうか。

副議長、何かご意見は。

○副議長（古橋智樹君）

研修の、前議長、副議長のほうで、予算は愛媛のほうの……

○小座野定信委員長

これ違う。この研修は講師先生を招いての。

○副議長（古橋智樹君）

実務研修のほうですね。実務研修のほうは、議員提案としての条例、さらに、あとは先般、県内の議長会で講師でお越しになった方が……

○小座野定信委員長

どういう講演やったんですか。

じゃ、前島局長のほうから。

○議会事務局長（前島嘉美君）

県内の議長会での講師なんですけれども、茨城大学人文学部の社会科学教授、馬渡 剛さんという方で、題名が「地方創生の時代と地方議会の役割と展望」という題名で講演をされたということで、大変よかったという話は私も前局長のほうから聞いておりますので、今、副議長がおっしゃられた方だと思いますので、つけ加えさせていただきます。

○小座野定信委員長

副議長。

○副議長（古橋智樹君）

地方創生ということなんですが、大分内容が多岐にわたっていきまして、選挙権が18歳になったこと、政治にかかわるような全般的な話で、かといって難しい専門用語ばかりのような講義ではなく、年齢的にも40代ぐらいの准教授でありましたので、聞いている感触としては事務職の若い方にも十分わかるような語り口でありましたので、無難なところではその方を前議長とお願いできればいいなという話は事前にしておりました。

○小座野定信委員長

小松崎委員。

○小松崎 誠委員

いきなりどんな研修がいいと言われても、本当に情報がないんで、ある程度候補を挙げてもらって、また次の機会にでも間に合う、実務研修ね。こういうのがありますけれども、そこから選んでもらえますかとかそういうふうにしてもらったほうがいいんじゃないですか。

○小座野定信委員長

副議長。

○副議長（古橋智樹君）

小松崎委員のおっしゃることはもっともなんですが、あとは全体研修と実務研修の日程をいつごろでイメージしたいかということをご協議いただければと思うんですけれども。

○小座野定信委員長

実務研修は後でもいいよな。これ夏場何だかんだ結構各委員会の研修や何かで第2・四半期は詰まっているんだよな。だから、第3・四半期か第4・四半期でもいいんじゃないかねえかな、実務研修は。会議室でやる研修だからね。どうだろう、局長。

○議会事務局長（前島嘉美君）

何月ごろとかというそういうざっとしたところを言っていただければ。

[指名について発言する者あり]

○小座野定信委員長

古橋副議長。

○副議長（古橋智樹君）

知事選挙がまず日程としてありますので、それ以降の形で全体研修、視察研修とその後に実務研修ということですので、となると必然的に冬場に実務研修というような順番になるのかと。

○小座野定信委員長

第4・四半期ね、4・四半期。だから、実務研修は第4・四半期。あと全体研修で、あとそのほか現地視察研修。

それでは、正副議長におきまして、ただいまのご意見、ご要望等をもとに講演のテーマまたは日程等を調整くださいますようお願いしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○小座野定信委員長

次いで、議員全体視察研修についての協議をお願いいたします。

本件の協議に入ります前に、各委員間で情報の共有を図りたいと思っておりますので、各常任委員会における視察研修の予定等につきまして、それぞれお伺いしたいと思います。

まず、最初に総務委員会委員長さん、じゃ、川村副委員長、お願いします。

○川村成二委員

総務委員会は、6月27、28日に、場所は北海道虻田郡ニセコ町で、ニセコ町役場をメインに調査に行く予定です。ここは住民自治を制度化したまちづくりということで、町長が変わっても住民が主役ということで非常に進んだ取り組みをしているということもありまして、そこを視察することと、その後、近隣の洞爺湖、ここはまたジオパークとして観光拠点になっておりますので、その辺のあり方を調べて、帰ってこようということで計画しております。

○小座野定信委員長

ありがとうございます。

次いで、文教厚生委員会、ご報告をお願いいたします。

○田谷文子委員

文教厚生委員会は、5月23日、土浦市立新治中学校、要するに新治学園義務教育学校建設地の見学をして研修……

○小座野定信委員長

日帰りですね。

○田谷文子委員

日帰りです。よろしく申し上げます。

○小座野定信委員長

産業建設委員会なんですけど、7月19、20日で予定しております。場所は、佐賀県佐賀市でございます。研修内容については、ごみ焼却場というところなんですけれども、その排出する二酸化炭素を使って、排出二酸化炭素を商業商品、まず1つが、二酸化炭素をハウス栽培農業に使うということと、それとそこから炭酸ガスを抽出して炭酸水を販売するという、それとあと発電と、たくさんいろんなものをやっているようなんですが、そこを見てきましょうということに先ほど決まりました。

以上でございます。

それでは、議員全体視察研修における視察候補地並びに日程等につきまして、ご意見・ご要望等ございましたら挙手の上、ご発言をお願いいたします。

矢口委員。

○矢口龍人委員

さっき、今お話があったように、5月、6月、そして7月はもう夏休みということで、8月は夏休み中だし、そうすると次はもう9月になると9月議会、本会議がございまして、議会の後ぐらいがいいかなというふうに思うんですが……

[議会月について発言する者あり]

○矢口龍人委員

10月、9月の議会の後ぐらいが気候的にもいいかなということですね。日程的なものはその辺をお願いしたいなというふうに思います。

○小座野定信委員長

わかりました。

ほかにございましたら。

岡崎委員、何かございましたら。いいですか。

田谷委員、よろしいですか。

○田谷文子委員

東北のほうならもうちょっと遅くて10月末。

○小座野定信委員長

ほかにございませんか。

小松崎委員。

○小松崎 誠委員

場所じゃなくて、この行き先もさっき言ったように委員長、副委員長あたりで事務局と十分打ち合わせして、候補地をある程度決めていただいて……

○小座野定信委員長

これ議長、副議長です。

[全体研修について発言する者あり]

○小松崎 誠委員

じゃ、議長、副議長に一任でいいんじゃないですか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

[テーマについて発言する者あり]

○小座野定信委員長

もし、今の段階で何か案がございましたら。

[案について発言する者あり]

○小座野定信委員長

ほかにご意見等ございませんでしょうか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

それでは、まだ唐突だったんで、なかなか意見もないということですので、正副議長におきましてただいまのご意見・ご要望等をもとに視察研修地の候補地と日程等を調整くださいますようお願いしたいと思います。

○小座野定信委員長

次に、諮問に対する答申（案）についてを議題といたします。

答申（案）を配布いたします。

暫時休憩します。

休 憩 午後 3時00分

再 開 午後 3時01分

○小座野定信委員長

再開いたします。

ただいまの答申（案）をごらんいただいていると思うんですが、答申（案）に対するご意見等につきましては、お目通しいただいた後、各委員からお伺いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、答申（案）につきまして、ご意見またはお気づきの点がございましたら挙手の上、ご発言をお願いいたします。

ご意見等ございませんでしょうか。

川村副委員長。

○川村成二委員

先ほど委員長からも提案があった傍聴者に対する一般質問通告書の要旨の配布、これは特に運営として決まったということは、この諮問の中には入れなくてよろしいのでしょうか。

○小座野定信委員長

入れておいたほうがいいよね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

じゃ、それを追加してもらうようにいたしたいと思います。

じゃ、事務局のほうでそれ追加しておいてください。お願いいたします。

ほかにごございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

それでは、ご意見もないようですので、ここで質問を終わりたいと思います。

それでは、ただいまの配布の質問者の分を、当日の質問者分だけ配布するという文言を入れていただいて、他は原案のとおり議長に答申し、5月17日水曜日午前10時から開催されます全員協議会で報告いたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

そのようにさせていただきます。

○小座野定信委員長

以上で、本日の日程事項は全て終了いたしました。委員の皆様から何かございませんでしょうか。副議長。

○副議長（古橋智樹君）

お疲れさまです。議会運営委員の皆さんにご相談したいことがありまして、議長とご相談をしまして、あゆみ祭りに参加したいなと考えております。

土浦やつくばでは、議会報告会ということでやっておりまして、積極的に市民と接点を持っている。祭りということで趣旨は違いますけれども、やはり市民のところに出向いて、いろいろ触れ合う機会として考えまして、議長と相談いたしました。

内容は、前回のかすみがうら祭は大変ちょっと忙しいような内容でしたので、もう少し余裕を持った形で、前回使った機材ですね、子ども用のおもちゃワンセットと、あとプラスアルファで、例えばアウトレットの野菜とかそういったものを皆さんのご提案をいただきながら、出店できればなというふうに考えております。

日にちにつきましては、あゆみ祭りがいつもお盆時期だったんですが、今年度、7月16日の日曜日ということをごさいまして、また、あゆみ祭りのほうは花火大会もセットになっておりますので、そこまで拘束時間を考えずに、夕方ぐらいまでというようなイメージを議長としております。皆さんのご意見いただければと思います。よろしく申し上げます。

○小座野定信委員長

じゃ、ちょっと意見、よろしいでしょうか。

[委員長交代]

○川村成二副委員長

小座野委員。

○小座野定信委員

意見なんですけれども、前回のかすみがうら祭と同じように、いろんな考えの方もおられると思うので、議会有志という形でやったほうが当たりさわりのないかなと思うんですが、いかがでしょうか。どうでしょう、副議長、そういうことで。

○副議長（古橋智樹君）

有志、それはもちろん異論はないです。

[委員長交代]

○小座野定信委員長

副委員長。

○川村成二委員

1カ月、今回前倒しする、8月だとお盆の休みの最後で集まりが悪いということで1カ月前倒しになったんですけれども、前倒しになったことによってかすみがうら市内の地元のお祭り日とブッキングしているんですね。

ですので、私は地元のお祭り、子供会のお祭りがありますので、そっちをやはり優先させていただきたいと思いますので、やっぱりそういう動きもありますので、ご了解いただきたいなと思います。

○小座野定信委員長

7月16、17日がこの7月に入って、9、16、23、30日というのは、各自治会の集落のお祭りとなってしまうんです。うちのほうでも実際に祇園祭で天満宮のお祭りがあるんだよね。そういったことも言われればあります。これは、だからちょっと計算ミスだな。

[祭りについて発言する者あり]

○小座野定信委員長

地元のお祭りがあるから、どうでしょうか、副議長、その辺。

○副議長（古橋智樹君）

これはどのぐらい出席……

○小座野定信委員長

議長、どうでしょう。

○議長（中根光男君）

かなり重なると私もそういう認識はしていたんですが、実際有志でという形にした場合に何人ぐらい実際有志が集まるかという部分もありますので。

[発言する者あり]

○小座野定信委員長

だけれども、本当、これ執行部も何の考えもなくただ日にち1カ月ずらしただけなんだよな。浅はか過ぎるよね。

[田谷委員「むしろ7月16日のほうが暑いと思う、8月お盆過ぎると」と呼ぶ]

[お祭りの重複について発言する者あり]

[田谷委員「そうしたら、7月は祇園祭に重なって」と呼ぶ]

○小座野定信委員長

はい、だから、その話をやっているの。やっと本題に入った。

[田谷委員「その意味よくわかるの。だけれども、どうして日にちを変更したのかしらって」と呼ぶ]

○小座野定信委員長

俺、そこまで言ったもの。

[田谷委員「ずっと何十年も8月16日があゆみ祭りで、私がこんな小さいころからもうそうやってんだもの」と呼ぶ]

○小座野定信委員長

じゃ、80年ぐらい前からある。

[田谷委員「そうです。昔はもっとすごかったからね。勇壮で。船で」と呼ぶ]

○小座野定信委員長

今だって、若い人らで、おみこし担いで、擦り切れるまでやろうなんていうのは、よっぽどです。

[祭りについて発言する者あり]

○小座野定信委員長

それでは、お諮りいたします。

有志でということなんですが、それでもこれ副議長、議長、そういうことで市内の各集落のお祭りと重なるパターンが多いと思うんで、議運じゃなくて全員協議会のほうで議長のほうから図ってもらったほうが……

○議長（中根光男君）

それで有志とかで何名ぐらい。

○小座野定信委員長

そこで判断してもらったほうがいいかなと思うんですけども。

それでは、そのようにお願いしたいと思います。

そのほか何かございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

ないようですので、ここで事務局から報告事項があります。
事務局より資料をお配りいたします。よろしくお願ひします。
暫時休憩します。

休 憩 午後 3時11分

再 開 午後 3時13分

○小座野定信委員長

再開いたします。
資料漏れはございませんでしょうか。
ただいまお配りいたしました資料につきまして、事務局長より説明いたさせます。よろしくお願ひいたします。
前島事務局長。

○議会事務局長（前島嘉美君）

それでは、資料を見ていただいて、県南10市市議会議員親睦ゴルフ大会開催にかかわるスケジュール（案）についてでございます。

あす、5月17日に開催されます県南市議会議長会定例会におきまして、平成29年度の事業計画（案）が承認いただければ、来週5月15日付で2ページ、3ページ目にございます各市議会の開催通知を発送する予定でございます。参加者の報告締め切りを5月31日までと考えてございます。開催日はご存じとおり7月11日火曜日、場所が千代田カントリークラブ、スタート時間が9時15分を予定してございます。会費につきましては、商品代、懇親会、プレー費を含めまして1万7000円を予定してございます。

4ページにございます親睦ゴルフ大会の商品リスト（案）と5ページにあります役割分担表を添付しておきましたので、ごらんいただきたいと思ひます。

それで、1ページに戻っていただいて、5月17日開催予定の全員協議会において、本市議会からの参加者の確認と役割分担、商品等の協議、決定をしていただくことにしております。また、6月6日に開催されます全員協議会において、組み合わせ及び大会要項の協議、決定をしていただくこととしております。

6月19日ごろということでは確定ではないですけれども、各市議会へ大会要項、参加者名簿、組み合わせ表の発送をする予定でございます。その後、細かな打ち合わせをゴルフ場さんとしていく予定でございますので、正副議長またいろいろと調整をしていただいております小座野委員長さんと進めてまいりたいと考えております。

説明のほうは以上でございます。

○小座野定信委員長

ありがとうございました。
小松崎委員。

○小松崎 誠委員

6月6日、議会初日に報告とかやるの。余り時間ないんじゃない。これ5月30日の告示日あるじゃないですか。そこのほうをもっと余裕があつていいんじゃないんですか。

○小座野定信委員長

前島局長。

○議会事務局長（前島嘉美君）

各市議会の参加取りまとめが5月31日ということになっていますので、定例会初日、組み合わせ等の簡単なものでございますので、確認をしていただくような形にとどめたいと思います。

○小座野定信委員長

じゃ、あと、これ説明は以上なんですけれども、ここで1回閉めちゃったほうがいいかな。ありがとうございました。

説明は以上ですが、そのほか質問がある方がおられましたら。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

それでは、以上で本日の議会運営委員会を閉じたいと思います。

本日はまことにありがとうございました。

閉 会 午後 3時16分

かすみがうら市議会委員会条例第30条の規定により署名する。

議会運営委員会委員長 小座野 定 信